

桜 だより

鹿児島大学病院広報誌



41号
2016.4

鹿児島の皆様に高い水準の口腔領域の治療をお届けする為に、
科の枠を超えた専門性の高いグループ診療を開始します。

口腔顎顔面センター

特集 口腔顎顔面センター

鹿児島の皆様に高い水準の口腔領域の治療をお届けする為に、科の枠を超えた専門性の高いグループ診療を開始します。

健康寿命という言葉をご存じでしょうか？ 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを言います。日本人の寿命は長くなっていますが、元気に年齢を重ねる為には、口腔機能(食べること・噛むこと・話すこと)を維持することが極めて重要であることがわかってきました。

口腔領域には虫歯や歯周病だけでなく、口腔癌をはじめとする口腔腫瘍や、口唇口蓋裂をはじめとする顎顔面奇形など、手術が必要な様々な疾患や、お口の粘膜の痛みや不快な感覚などの疾患が発生します。これらの疾患の治療をすることは健康寿命を維持するために極めて重要です。

これまで口腔顎顔面センターでは、口腔外科(科長 杉浦剛)・口腔顎顔面外科(科長 中村典史)の2科がそれぞれこれらの疾患を担当してきました。2016年4月から、より専門性の高い治療を強化することを目的に、疾患別に科の枠を超えたグループ診療を開始します。具体的には、腫瘍グループ(お口の中のおできや癌の方)、口唇口蓋裂グループ、顎変形症グループ(顎の変形から骨格の治療を必要と

する方)、粘膜疾患グループ(お口の粘膜のあれ、ただれ、痛みのある方、お口が乾燥する方)、疼痛・漢方外来(お口・お顔の痛み、不快な症状のある方)をそれぞれの疾患の専門医が集まって治療グループを形成し、協力して治療にあたります。多くの専門医が集まって意見を出し合い、診断・治療方法を決めていきますので、より高い水準の専門的な治療を受けていただけます。それぞれの治療グループの代表の診察日(新患担当日)は表のとおりとなっていますが、他の曜日に受診されても必ず適切な各治療グループが診察いたしますのでご安心ください。

さらに、口腔顎顔面センターは、鹿児島大学医学部・歯学部附属病院の各診療科はもとより、地域の歯科医師会の先生方と連携して術後のあらゆる状態にも対応できる体制を整えています。疾患の治療から、機能回復、術後の経過観察まで一貫した治療体制で鹿児島の皆様の健康増進に力を注いでまいります。どうぞ、鹿児島大学病院口腔顎顔面センターをよろしく願いいたします。



毎週の合同症例検討会で全ての症例を真剣に検討します。

月	火	水	木	金
杉浦剛 (口腔腫瘍)	中村典史 (口唇口蓋裂)	上川善昭 (粘膜疾患)	野添悦郎 (顎変形症)	比地岡浩志 ¹ (口腔腫瘍) 山口孝二郎 ² (疼痛・漢方)

◎ 初診受付時間 8:30~12:00 再診受付時間8:30~17:30

1. 第1,3,5週
2. 第2,4週

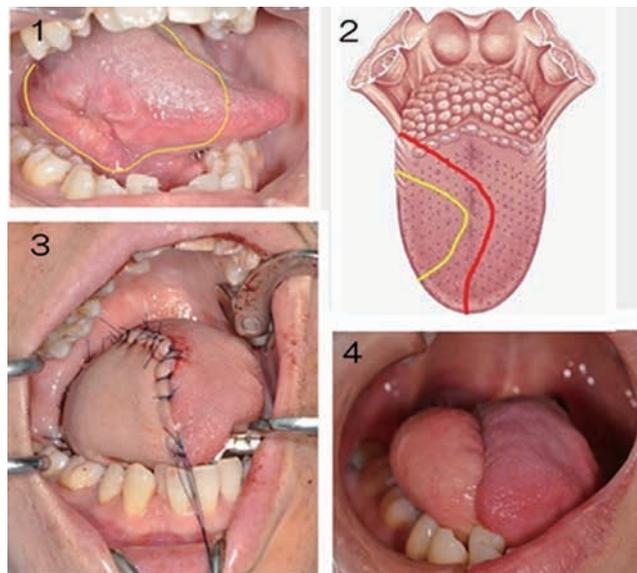
お口の機能回復を目指した口腔がん・口腔腫瘍治療を目指します。

口腔顎顔面センター 腫瘍グループ (主任：口腔外科 杉浦 剛)

みなさんはお口の中にがんができることを知っていますか？
また、歯が原因であごの骨に腫瘍ができることをご存じでしょうか。舌がんをはじめとする口腔がんは、日本では稀ながん「希少がん」に分類されていますが、世界では第6位のがんなのです。近年、日本人が口腔がんにかかる率は年々増加しています。また、残念なことに鹿児島県は口腔がんのできる率が日本でも高い県です。その原因として、口腔がんがあまり知られておらず、受診や治療が遅れてしまう方が多いことなどが考えられます。

私たち腫瘍グループは口の中の腫瘍をお口の機能を守りながら治療し、元気に社会復帰していただくことを目指しています。そのために毎週、がん治療認定医を中心に画像診断医、病理医による腫瘍カンファレンスを行い、治療方針や手術の方法、さらに術後のお口の機能について話し合っています。かみ合わせや飲み込みを重視した再建術(腫瘍をとることで失われた部分を作り上げる手術)にも腫瘍の治療と同等に力を入れています。

もちろん何より大切なことはがんの早期発見です。口腔がん検診やお口の相談も随時行っておりますのでお気軽にご来院ください。



1. 見た目にはわかりにくい進行性の舌癌（黄線）
2. 十分な切除が必要となります（赤線）
3. 切除した部分を再建します。
4. 術後3か月。食事や会話も問題ありません。

専門医のチーム医療による口唇裂・口蓋裂の一貫治療を行っています。

口腔顎顔面センター 口唇口蓋裂グループ(主任：口腔顎顔面外科 中村典史)

口唇裂・口蓋裂は生まれつき唇や上あごが割れた状態で生まれてくる病気で、日本人では500～600人に1人の割合で生まれてくるといわれています。その治療では、口唇裂や口蓋裂の手術、言語の練習、歯のかみ合わせの改善や最終的な唇や鼻の修正が必要になるため、我々は複数の専門医によるチーム医療を行っています。鹿児島大学病院の口唇口蓋裂専門外来は、南九州における口唇口蓋裂治療の専門施設として知られており、開設以来1200名以上の治療に携わってきました。また、鹿児島県口唇裂口蓋裂親の会「もみじ会」を家族らと運営し、楽しいイベントの企画や講演会などを行いながら患児やその家族の心的支援も行っています。さらに心的支援の一環として、超音波診断などで出生前に口唇裂が診断された場合の出生前カウンセリング、出産直後の出産施設への往診など、少しでも早い段階で患児とそのご家族のサポートができ

る体制を充実させてきました。患児が成長した後、心身ともに健全な状態で社会へ導くことが我々の治療のゴールと考えています。

口唇裂・口蓋裂の治療に関しまして何かお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。



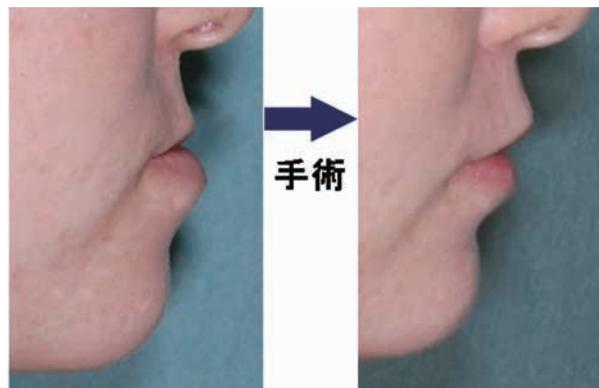
もみじ会のイベント風景

顎矯正治療 -手術によるかみ合わせと口元の治療-

口腔顎顔面センター 顎変形症グループ(主任：口腔顎顔面外科 野添悦郎)

がくきょうせい

顎矯正治療は、通常の歯列矯正(歯並びを治す治療)だけでは十分なかみ合わせの改善ができない患者さんに行われる広く普及した手術による治療法です。日本では下あごの前歯が上あごの前に出ってしまういわゆる受け口(下顎前突症)の女性の方が最も多く治療を受け、かみ合わせと下あごの出した感じが解消されています。手術前後の歯列矯正と入院治療が必要ですが、ともに健康保険が適応されますので、かみ合わせや口元にお悩みの方はご相談ください。



従来の治療法で改善しないお口の痛み、異常感はありませんか？

口腔顎顔面センター 慢性痛・漢方療法外来(主任：口腔外科 山口孝二郎)

治りにくい口内炎、原因不明の舌、口、顔の痛み、口の中の異常感など治療法がないと諦めていませんか？ このような症例に対して、慢性痛・漢方療法外来では漢方治療にも精通した口腔外科専門医や歯科医師が、西洋医学と東洋医学を合わせた統合医療を行います。必要に応じて医学部病院漢方診療センターの各科とも連携して治療に当たります。まずは、ご相談ください。尚、予約診療制です。初診の患者さんは紹介状をご持参ください。



腹診風景

お口の粘膜の病気や乾燥を改善します。

口腔顎顔面センター口腔粘膜疾患・ドライマウス外来(主任：口腔外科 上川善昭)

舌痛や味覚異常では口の乾燥や口腔カンジダが原因です。口の乾燥には原因に応じて薬物療法と口腔筋機能訓練(舌や口唇の体操)療法を行っています。口呼吸では口が乾燥し慢性炎症による痛みや味覚異常が生じます。訓練により鼻呼吸となると口は湿潤し炎症や痛みは改善されます。口腔カンジダ症では迅速診断法にて、即日、薬物治療を開始しています。このように、従来、難治性とされてきた舌痛や味覚異常に対する治療を行っています。

口呼吸の改善



40歳代、女性。口の乾燥感と痛みを訴えて受診されました。(写真左)口呼吸が認められたので口腔筋機能訓練を行いました。(写真右)訓練後には鼻呼吸となり口の乾燥感と痛みは改善されました。

口腔顎顔面 センター外来 看護部門

口腔顎顔面センター外来では、局所麻酔下での小手術が行われています。患者さんが、安心・安全に治療を受けられるように医師と密に連携をとり対応しています。

また、全身麻酔下での手術を受ける方や入院して治療を受ける方へは、入院生活や手術について、また退院後の心配事について十分な説明を行い、入院前後を通じてサポートしています。



鹿児島大学病院 口唇口蓋裂専門外来

- 口唇口蓋裂専門外来では、出生前のお母さん・ご家族へのカウンセリングを行っています。そして、出産直後には、産科への往診を実施しています。
- 出生後の哺乳の問題は、お母さんと赤ちゃんが乗り越えなければならない最初の壁です。専用哺乳瓶や口蓋プレートを用いながら、スムーズな哺乳に向けてお手伝いいたします。
- 乳幼児期・学童期を経て成人期まで、幅広い年齢に応じたサポートを提供いたします。
- ピアカウンセリングの出来るスタッフがおりますので、皆さんの気持ちに寄り添い、親身になってご相談をお受けします。

◎メディカルメイクのご案内◎

当外来では、手術後の傷跡やアザ・シミなどが気になる方へ、メディカルメイクをご紹介します。メディカルメイクアップアソシエーション認定サポーターの資格を持ったスタッフがご相談に応じます。



マスクを外してあなたの素敵な笑顔を見せてください!

外見のお悩みだけでなくメディカルメイクに興味がある方など、お気軽にお問合せ下さい。

臨床技術部 歯科衛生部門



保健指導



病棟での口腔ケア



機械的歯面清掃

お口のケアで心身ともに健康で・笑顔を!

「おいしく食べる」「楽しくお話しする」「上手に呼吸する・飲み込む」など生きていくうえで「口」はとても大切な役割を持っています。私たち歯科衛生士は患者さんのお口の健康維持・増進のために様々な支援・援助を行っています。専門業務として保健指導があります。齲蝕や歯周病予防のために一人一人の生活背景に沿った口腔衛生指導を行っています。その他、お口のクリーニング(プラークを機械的に除去する機械的歯面清掃)や、小児や高齢の方の口腔機能訓練を行い、「食べる・飲み込む」の援助をしています。また、専門性を高めるために歯周病や小児歯科、摂食嚥下等の認定やホワイトニングコーディネーターの資格等、様々な資格を取得し、より質の高い支援を目指しています。

プラーク(歯垢)は細菌の共同体

バイオフィルム: 細菌の周囲を多糖類に囲まれた構造体

白～黄白色の軟性膜様物質



拡大すると



約80%水分+20%微生物およびグリコリックス(粘性物質)

成熟したプラークには **微生物 1億～10億/mg**

医科歯科連携でチーム医療に貢献!!

入院前～退院後の口腔ケアは、術後感染、誤嚥性肺炎予防や栄養摂取のサポートとなり在院日数の短縮につながります。口腔ケアチームをはじめ、緩和ケアチーム、外来化学療法、糖尿病教室等で活動しており、医科歯科連携を図りながらチーム医療に貢献しています。

北限のチョウチョウウオ、 ゲンロクダイ

錦江湾が最も狭くなる鹿児島市街地と桜島の間。その桜島側、袴腰に潜ると、必ずこの魚と出会えます。熱帯域に暮らす仲間より、少し地味な色彩のこの魚は、世界で最も北にまで暮らし、日本海でも見られるチョウチョウウオ科魚類、ゲンロクダイです。

ゲンロクダイは、西日本各地で見られますが、どこも見られる水深は深く、なかなか会うことはできません。ところが、ここ錦江湾では、水深5m程から普通に見られます。理由は、表層が濁っていて透明度が低く、海中が暗いことなどがあげられますが、この愛らしい魚といつでも手軽に会うことができるというのは、本当に素晴らしいことです。

春、海中で出会うゲンロクダイは、ほとんどが雌雄ペアになっています。2匹は、つかず離れず、5m程の距離をたもって海底をつついたり、また思い出したかのように、2匹で慌てたように寄り添って、じゃれあうような仕草には、微笑をかくせません。ゲンロクダイには、明確な雌雄の差が見られません。しかしこの時期、メスのお腹は卵ではち切れそうに膨らんでおり、区別は容易です。この時に、体表の傷や、体側の模様が入り方、背びれ後部の目玉模様の特徴などを記録しておく、ペアの追跡は容易となります。ゲンロクダイのペアは、時に長く続くことがあります。これまでの調査では7年間も同じペアを形成していたものもいるほどです。

ところで、チョウチョウウオの仲間の繁殖行動は謎に包まれています。誰も、チョウチョウウオの仲間の繁殖行動を見た人はいないのです。一説には、繁殖を迎えたペアは、深海に移動して繁殖すると

いうものがあります。実際に普段は浅海に暮らすチョウチョウウオが、漁礁調査のため潜った無人潜水艇で、水深200m超の場所で撮影されたこともあります。

錦江湾のゲンロクダイはどうでしょうか。これまでの観察で、夕方日が暮れる寸前に、今にも産卵に至るような行動がみられています。雄が雌の腹部をつつき、産卵を促すような行動が見られたのです。チョウチョウウオ類の繁殖行動は、ゲンロクダイを突破口としてそのベールが剥がされるかもしれません。私はこれからも彼らの動きを追い、いつの日か彼らの産卵行動をこの目で見てみたいと思っています。



桜島海底のゲンロクダイ。地味といわれる色彩も、よく見ると白い部分には真珠のような光沢があって、とても美しい。

Topics

防火・防災訓練を実施しました

鹿児島大学病院のある桜ヶ丘キャンパスでは、毎年、消防訓練及び防火・防災訓練を実施しています。

平成27年度も9月18日に夜間の火災を想定した訓練、3月4日には、昼の地震発生に伴う火災を想定した訓練が行われ、鹿児島南消防署脇田分遣隊の協力により、消火器を使った実技訓練も実施され、教職員一丸となって訓練に取り組み、防火・防災意識の高揚を図ることができました。



表紙の写真

口腔顎顔面センターのスタッフ。
口腔外科と口腔顎顔面外科は、2016年4月より合同で診療を行います。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈41号〉

2016(平成28)年4月発行
発行/鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692
<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>

*「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。